

おおとり会だより

新会長ご挨拶

おおとり会存続にご支援を！

会長 鈴木 明 美 (被服学科・大学二回生)



令和の時代がスタートしました。おおとり会会員の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと
思います。昨今は自然災害が度々発生し、被災された
皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い
復旧・復興をお祈り申し上げます。

さて、令和元年度の総会において、新役員が承認され、図らずも大役をお引き受けすることになり、長屋前会長様からバトン
タッチをすることになりました。未熟者ですが、どうぞ宜しくお願い申し
上げます。

おおとり会は、静岡女子短期大学(昭和26年(43年)静岡女子大学(昭和
42年(平成2年)の卒業生の同窓会です。現在、会員は約3800人い
らっしゃいます。おおとり会の主な活動は、年一回の総会開催、おおとり
会だより(会報)発行、剣祭への参加、名簿管理等を行っております。今年度
役員・理事の方々の献身的な奉仕により、同窓会ホームページを開設しま
した。おおとり会の歴史から最近のニュースまで見どころ満載ですので、是非
ご覧ください。皆様の交流の場として、ご活用いただきたいと思ひます。

また、静岡県立大学同窓会連合会が、昨秋発足致しました。これまで県
立大学には、七つの学部等同窓会があり、それぞれ独自に活動していま
しが、各同窓会の学部の垣根を超えた横断的かつ有機的な活動や、県立大
学との連携は十分ではなく、この度、すべてをつなぐ同窓会連合会として
歩み出すことになりました。おおとり会も仲間入りさせていただきます。県立
大学の母体の一つである同窓会として足跡を残すことになりました。

静岡女子大学は、30年前に閉学し、以後会費収入はなく、すべて同窓生
の皆様の善意の基金で運営されてきました。このように長く活動を続けて
くることができましたのは、皆様のご協力・ご支援のお蔭と改めて深く
感謝申し上げます。毎年、会報で会計報告をさせていただいておりますが、
今、現実は大変厳しい状況にあります。会報を今後も引き続き皆様のお手
元にお届けするためにも、是非ご協力・ご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、鬼頭宏学長先生、学生部長小林公子先生、石川徹
学生室長様にはいつも温かなご理解・ご支援をいただいておりますことに
深く感謝申し上げます。

恩師の先生方、同窓生の皆様のご健勝をお祈り申し上げますと共に
とおとり会の存続を願ひ、ご挨拶にかえさせていただきます。

令和元年度 総会報告

令和元年六月九日(日)、クーポール会館において、おおとり会総会が開催されました。来賓として
県立大学学長の鬼頭宏先生をはじめ、学生部長
の小林公子先生、学生室長の石川徹先生、恩師の
大津山国夫先生、高瀬幸子先生、伊勢村護先生、
大石邦枝先生の七名の先生方のご臨席を賜り、
会員八十一名の参加を頂きました。

第一部では、鬼頭先生よりご祝辞を頂いた後、
平成三十年度事業報告、決算及び会計監査報告、
令和元年・二年度の新役員選出、令和元年度事業計画案・
予算案が提案され、審議いたしました。いずれも賛成多
数で可決・承認されました。役員では長屋前会長が退任され、
新たに鈴木明美副会長が会長に就任されました。長きに
わたり同窓会活動に尽くされた長屋前会長には引き続き
顧問としてご協力頂きます。



第一部の終わりに、今年度おおとり会賞を受賞したソ
フトテニス部が紹介されました。当日は大会出場のため、
お預かりした阪田部長からの手紙が代読され、益々のご
活躍を祈念しました。

第二部は、ソプラノ歌手・佐藤美奈子さんと、エレク
トーン奏者・稗田未央さんのデュオ、Mimiによる「音楽でたどる過去から未来へ」と題するコンサ
ートを楽しみました。誕生から各年代を追いながら、ポップスからジャズ、クラシ
ックと幅広い選曲で、お二人の織りなす伸びのある歌声と素晴らしい演奏を堪能
しました。

第三部の懇親会では、おいしいお料理を頂きながら、恩師の先生方や旧友との
語らいが和やかに繰り広げられました。また、懇親会の中で、このたび開設され
たホームページがプロジェクトを使って紹介されました。このホームページが、
新たな同窓生の交流の場として活用されることが期待されます。

今年度は、四、九、十四、十九
回の幹事の方々のお手伝いを頂き
ながら、理事会イベント係を中心
に準備を進めて参りました。総会
にご参加頂きました皆様には心よ
り御礼申し上げます。今後も多く
の皆様のご参加をお待ちして
おります。

ご来賓の 恩師の皆様



伊勢村護先生



大津山国夫先生



大石邦枝先生



高瀬幸子先生



赤堀 美里
食物学科(大学十三回生)

輝く女性シリーズ V



「山川里海狂言でつなぐ古今東西と未来」

ユネスコ無形文化遺産日本第一号

「能楽」の活用

野口 久

(ペンネーム 山川里海)
被服学科 (大学十四回生)



ものを書き始めたのは33歳。癌の闘病時でした。再発の恐怖におびえつつ幼い3人の我が子に何か残そうと、寝ても覚めても児童小説を書き続けました。

2年ほど経っていくつか賞をいただいた頃から、作文を教えてほしいと集まってきてくれた子育てファミリーなど約100人と川や森の保全活動に赴いています。今どきの子どもたちは、自然体験の乏しさから本が読めない↓ポキヤブラリーが乏しい↓作文が書けないことを実感し始めていたとき、通院の度に泣きべそをかいていた私に「あなたはもう内臓に障害を負ったんだから体調が良くないのはあたりまえ。これからはあなたを育てた山や川を大切に生きてください」と主治医が諭してくださいましたのが始まりです。その言葉はペンネームの由来となり、私の活動の原動力となりました。

その後、万博や名古屋城本丸御殿の復元記念舞台の制作機会をいただくのですが、名古屋城で勧められたのは「新作狂言」という特殊ジャンル。能楽について全く無知だった私ですので、一旦は尻込みしましたが、恩師の立田洋司先生にご指導いただいた卒論は、雪舟から狩野派までの造形精神の変遷。その終着点はまさしく

名古屋城本丸御殿であり、当時の学芸員さんから頂いた膨大な資料が手元にありました。しかも御殿は、駿府城で生まれ育って初代名古屋城主となった徳川義直(家康九男)の婚礼の際に建てられたもの。それらご縁に腹をくくり、多くの狂言公演に足を運んで「夢つくり」という狂言を書き下ろしました。

「能は有名人の鎮魂ミュージカル、狂言は名も無き庶民のお笑いコントです。」とよく講演でお話しさせていただくのですが、その魅力は無限大!!

狂言は、大名と家来、主人と召使、夫と妻、舅と婿、精霊や神と人、強者と弱者がからみあい、どんでん返しや下剋上など、普遍的真理が描かれています。中でも私のお気に入りには、「女」の描き方。狂言の「女」は「わわしい」と形容され、情愛深く、したたかで、亭主を顎で使い、やり込めながらも、支えたり奮起させたり…。室町時代も今も。

そして能楽には、650年継承された「型」があります。戦国武将に愛され、江戸期には家康から「幕府の式楽」と定められ、役者は士族や町人の師となつて伝承スタイルを確立。大道具を持たず、演者が「ある」と語れば見えてくるイマジネーション豊かな芸能。ゆつくりはつきり大きな台詞回し。無駄のない所作。伝統装束。それらすべての「型」が日本の宝と言えましょう。また、地域にも未来に残すべき宝が多くあります。100年後まで残したい景観・伝承・史実のアンケートと綿密な取材をもとに書き下ろしてきた『子ども狂言』は、地域おこしや小学校の総合学習で活用され、次世代へ伝承されています。コミュニケーション力と体幹を鍛え、日本の伝統と歴史への理解も進み、地域の魅力発信や他地域との交流にも役立つと評される山川里海新作狂言。名だたる重要無形文化財の能楽師(狂言方・囃子方)が「型付け」と指導に協力して下さって、子どもたちが生き生きと演じる姿から、いつも感動をもらっています。

現在、熊本・山形・東京で大名の治水利水をテーマとする新作狂言を手掛けております。名付けて「国づくり狂言プロジェクト」。おどりの皆さまにもいつの日か何処かでご覧いただければ幸いです。

【主な舞台作品】

新作狂言/名古屋城本丸御殿復元記念狂言「夢つくり」
清須越し狂言「轍」
妖怪狂言「冥加さらえ」
子ども狂言4作 など
和奏劇/愛・地球博「水郷龍話」
スペインサラゴザ国際博「龍夢」

【賞】

日本水大賞(国土交通省)
土木広報大賞・市民普請大賞(土木学会)
河川功労者(日本河川協会)
グッドライフアワード(環境省) 他



名古屋城本丸御殿狂言「夢つくり」

◆出演：井上松次郎、野村又三郎、鹿島俊裕、竹市 学

◆戦で焼失した御殿の再建を夢みる大名は、太郎冠者に命じて千人力の山伏を召し抱え、バラリポンと祈りださせようとするが…。



子ども狂言「おそそ仁王」

◆NPO法人ほっとネットみわ、愛知県あま市立正則小学校総合学習

◆天正の大地震と庄内川の氾濫で孤児になった小坊主と小尼たちが修行に励む甚目寺。そこに訪ねてきた萱津の狐たちは、この寺の秘仏「おそそさま」を借りたいたいというが断られ、仏師に化けて盗み出そうとする、…。

感謝の心で

大石 邦枝

食物学科(短大八回卒)



同窓会の会長を長屋さんにお願ひし、八十歳になろうとする私の近況をお知らせします。とりあえず身体には不自由なく暮せていますので月に3日のボランティアと趣味や公民館主催の講座の受講など今日行く所がある、用事があるの「教育・教養」の日々です。静岡市も高齢者が外で元気に活動することを支援しているの、その恩恵にも預かってい

お元氣ですか

ます。フレイルやぼけの予防です。樹木希林著作「一切なりゆき」がベストセラーになっていますが、私は私なりに成り行き任せの生活で少々失敗しても私の個性として容認してもらっている状態です。アフガニスタンで突然の死を迎えなければならなかった中村哲医師が「裏切られても裏切り返さない誠実さこそが、人々の心に触れる」と自著に綴ったとありました。小さな人間の私は「幸せは人のために生きる人生の中にある」「家庭は平和に暮らすことを学ぶ愛の学校」という教えのもと「常に感謝の気持ちで」「人を恨まない」人生であることを願ひ、楽に楽に生きています。

『甲骨文字』に魅せられて

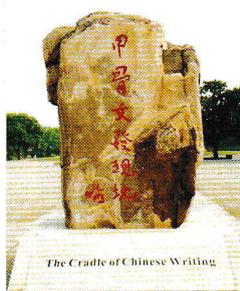
奥村 裕子

国文学科(大学三回卒)

漢字にはあまり興味がなかった私でしたが、などコミカルでミステリアスな「甲骨文字」に出会って、その形とそれを取り巻く古代の歴史に惹かれていきました。「甲骨文字」は亀の甲羅や牛の肩甲骨に刻まれた文字であり、漢字の最初の形といわれています。今から約三千年程前に、王権を維持すべく「占い」のために使われていました。

「甲骨文字には一体何が書かれているのか。」というのが、私の課題となり、調べていくうちに、殷墟(甲骨文字発見地)に行ってみたくてという思いが日に日に高まり、遂にその日が訪れました。殷墟は赤い柵と門、広大な地に「生け

にえ」の人々の白骨が並び、歴代の王の墓は、地下深く掘られ、様々な青銅器や装飾品、調度品が並べられ、贅を尽くした様子が伺えます。驚くのは、殉死した家来や奴隷達の人骨が整然と並べられていることです。王の絶対的な力の表れでしょう。甲骨文字の発見場所は、宮殿に復元されていました。白く重ねて埋められた文字達は、ひっそりと光を放っていました。甲骨文字にはまだ説明されていない部分が多くあります。今後でも楽しく追究したいです。



※中華人民共和国の殷墟(現在の安陽市)

はばたき寄金

令和元年度の『おとり会賞』は、左記の団体が選出され、平成三十一年四月二十日に行われた開学記念行事「はばたきのつどい」において、おとり会会長から表彰されました。

ソフトテニス部

ソフトテニス部は経験者、未経験者問わずに多くの人が活動をしていま



す。未経験者でも大会に参加し、試合の楽しさや勝利の喜びを感じられるようにと、経験者や先輩達が引っ張ってくれます。そんな雰囲気を持ちながらも、結果をしつかりと残していけるような部活動を意識して、これからも頑張っていきたいと思ひます。



剣祭でのイベント大盛況

『昔の遊びにチャレンジ partII』

令和元年十月二十六日、県立大学で行われた剣祭初日に、おとり会では昨年好評だった『昔の遊びにチャレンジ』の「partII」を開設しました。

今回は、学生部長の小林公子先生から看護棟の保育室を利用してはとのご提案を頂き、昨年の『おはなしの会』をここで開くことにしました。読み聞かせには最良の環境で、子供連れの親子に大変楽しんで頂けました。

また、理事の娘さんが高校の演劇部のお仲間と一緒に手伝いをしてくださり、更に交流が広がりました。その上、ご主人はバルーンアートの実演と、家族総出でご協力下さ



いました。

近年、地域との交流を重視する大学の働きかけに、家族連れの来場が増え、おとり会のコーナーは昨年以上の盛況となりました。おはじき・だるま落とし・ぬり絵・おり紙・輪投げ・豆つかみなど、昔ながらの素朴な遊びに、一〇〇人以上の子供達が挑戦し、若い親世代も楽しい時間を過ごせたようです。大学からも、子供連れが楽しめるコーナーを開いたことに感謝していただきました。

来年は、ぜひ多くの会員の皆様にお手伝いをして頂き一緒に楽しみたいと思ひます。



理事会から

『おおとり会』の新しい
出発にあたって

令和元年・二年度 会長 副会長 紹介

新会長 鈴木明美
(被服学科 大学二回生)

顧問 長屋梅子
(国文学科 短大七回生)

副会長

- 国文学科 山本千秋 (大学五回生)
- 国文学科 石田加苗 (大学十回生)
- 英文学科 高橋節子 (大学四回生)
- 食物学科 長田直子 (大学四回生)
- 被服学科 長田直子 (大学四回生)

静岡県立大学同窓会連合会に正式加入

理事会では、県大の七つの同窓会の組織化の中で、おおとり会がどのように関わることについて様々な意見が交わされました。議論の末、今後規模が縮小していくものの、静岡県立大学の母体の一つとしての同窓会としてその意義と独自の役割があるのではないかと、意見がまとまり、正式に同窓会連合会に加わることに決定されました。



令和1年10月26日
県大同窓会連合会発足式

おおとり会の今後に危機感!!

基金にご協力を!!

おおとり会は、平成二年の静岡女子大学閉学を最後に、新会員を迎えることがなくなりました。その後三十年間活動を維持できたのは、会員の皆さまの基金への協力のおかげです。

しかし、現在おおとり会にある基金の残りは約六〇〇万円。会の運営には年間一〇〇万円(内、会報発行・発送に七割)近くが必要となります。今後、会を継続させていくための方策について、理事会で何度も議論が交わされました。

昨年度は、閉学した母校の同窓会の存在を確かにするため、ホームページを開設し、今年度は、県大同窓会連合会に参加して、おおとり会独自の役割を模索しています。

会員相互のつながりを図り、おおとり会としての役割を果たすため、今一度皆様方にお力をお借りしたいと願います。振込用紙を同封してありますので、ご支援・ご協力(二千元以上)の程、お願い致します。

おおとり会会員名簿変更についてお願い

住所変更および住居表示変更の場合は各科の名簿係またはクラス幹事までご連絡ください。尚、クラス幹事は変更内容を各科の名簿係にお知らせください。

- 国文学科 萩倉あおい ○五四―二六四―一―二八
 - 英文学科 瀧 智子 ○五四―二四五―三―七四四
 - 食物学科 赤堀美里 ○五四―三三七―一―一七一
 - 被服学科 長田直子 ○五四―二六三―一―三九三
- (TEL・FAXは同じ番号です)

平成30年度 決算報告書

自平成30年4月1日
至平成31年3月31日
(単位:円)

総収入 7,823,668円 総支出 1,049,939円 残高 6,773,729円(繰越金)

収入の部				支出の部					
費目	30年度予算額	決算額	増減	備考	費目	30年度予算額	決算額	増減	備考
預金利息	5,000	2,684	-2,316	定期郵貯・通常郵貯	事業費	200,000	159,865	-40,135	総会、剣祭
基金入金	50,000	125,480	75,480	26件	会議費	170,000	102,742	-67,258	役員会、理事会、幹事会、各委員会、HP作業部会
剣祭収益金	10,000	9,900	-100		印刷費	20,000	8,596	-11,404	会議用資料、総会資料印刷
雑収入	0	0	0		通信費	20,000	11,715	-8,285	会議通知、来賓案内状、連絡等
					慶弔費	50,000	0	-50,000	葬儀花代
					事務・雑費	50,000	5,934	-44,066	印刷用紙、文具等
					ササキザン社	220,000	210,258	-9,742	会報、総会案内
					株サラト	500,000	485,829	-14,171	会報・総会案内発送業務、データ管理
					予備費	30,000	65,000	35,000	歌碑クリーニング代
小計	65,000	138,064	73,064		小計	1,260,000	1,049,939	-210,061	
前年度繰越金	7,685,604	7,685,604	0		次年度繰越金	6,490,604	6,773,729	283,125	
総計	7,750,604	7,823,668	73,064		総計	7,750,604	7,823,668	73,064	

上記のとおり報告致します。平成31年3月31日
会長/長屋梅子 会計/井上明子・大倉一美
監査の結果、相違なく適正と認めます。平成31年4月13日
会計監査/杉山雍子・大塚一恵

令和元年度 予算

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日
(単位:円)

総収入 7,288,729円 総支出 7,288,729円 残高 0円

収入の部				支出の部					
費目	令和元年度予算額	30年度予算額	増減	備考	費目	令和元年度予算額	30年度予算額	増減	備考
預金利息	5,000	5,000	0	定期郵貯・通常郵貯	事業費	200,000	200,000	0	総会、剣祭
基金入金	500,000	50,000	450,000		会議費	150,000	170,000	-20,000	役員会、理事会、幹事会、イベント各委員会、HP作業部会
剣祭収益金	10,000	10,000	0		印刷費	20,000	20,000	0	会議用資料、総会資料印刷
					通信費	20,000	20,000	0	会議通知、来賓案内状、連絡等
					慶弔費	50,000	50,000	0	弔電、香典、記念品等
					事務・雑費	50,000	50,000	0	印刷用紙、インク、文具等
					ササキザン社	220,000	220,000	0	会報、総会案内
					株サラト	680,000	500,000	180,000	会報・総会案内発送、データ管理、HP開設・管理費
					予備費	30,000	30,000	0	
前年度繰越金	6,773,729	7,685,604	-911,875		次年度繰越金	5,868,729	6,490,604	-611,875	
合計	7,288,729	7,750,604	-461,875		合計	7,288,729	7,750,604	-461,875	

前年度繰越金内訳(定期郵貯 6,197,966円) + (通常郵貯 575,763円) = (合計 6,773,729円)

*他費目への流用を認める

訂正とお詫び

平成31年3月15日発行の『おおとり会だより』において、左記の三ヶ所に誤りがありました。訂正してお詫び致します。

- 三頁 上から3段目13行目 石↓布
- 五頁 恩師の返信より 今西祐一郎先生の部分 静岡↓福岡
- 六頁 「新生への礎」の写真の下 看護学部棟前↓はばたき棟近くの

※ホームページ上では、すでに訂正されています。
編集委員 石田加苗・岩崎たか江
加藤久江・森 恵美

おおとり会 ホームページへようこそ!

昨年度、おおとり会のホームページが開設されました。静岡県立大学のホームページからもアクセスできます。ぜひ、ご覧ください。

★アドレス
<https://dousukai.site/ootorikaihp/>